

全自社品でハラール取得

ムスリム圏で新規市場開拓

物産フードサイエンス

物産フードサイエンスはこのほど、中東諸国をはじめとする多くの国で認められるハラール認証機関であるインドネシア・LPPOM MUIから認証取得したことを明らかにした。ハラール認証は、同社名古屋工場で製造される糖アルコールをはじめとするすべての

自社製品が対象となり、取得日は3月15日。国内の糖アルコールメーカーとして、初めての認証取得となった。物産フードサイエンスでは現在、中国や台湾、タイなどの東アジア・東南アジア地域を中心に海外への販売に取組んでおり販売数量を伸ばしている。

今後はインドネシア、マレーシアといったムスリム圏の国内市場に加え、顧客製品への海外輸出市場からの要請に応える体制を整う。ハラール認証の取得は、ムスリム圏へ最終商品輸出する国内ユーザーからの要望がきっかけだったが、これを機に、

在日ムスリム、訪日ムスリム観光客をターゲットにするメーカーのほか、ムスリム圏へ製品輸出を行うメーカーに対しても積極的に働きかけを行う

考えた。特に2020年の東京オリンピック・パラリンピックを迎える時期には、年間100万人を超えるムスリム観光客が訪日するといわれてお

り、今後の市場成長を見越して他社に先駆け先手を打った。

同社ではハラール認証の取得に当たり、2015年3月に全社をあげたプロジェクトチームを立ち上げた。国際的に信頼性が高い認証機関と判断したLPPOM MUIへの登録の後、原料納入先からの協力も得て、書類審査や工場監査を経た後、今年の3月15日に認証を取得した。